

<白金標準、4100 円の抵抗を確認し 4300 円への回帰相場・・・>



(出所：オアシス)

中国消費者物価指数、生産者物価指数はマイナスとなり、デフレ懸念を高める結果となっている。また大手格付け会社ムーディーズが主要米国銀行 6 行について格下げ方向で見直すと発表、また中小の米国銀行 10 行を格下げし、11 行の格付け見通しも「安定的」から「ネガティブ」に引き下げる発表を行っている。特にイタリア政府は銀行の今年分の「超過利潤」に対する予想外の課税を承認しイタリアの銀行株は急落し合計約 100 億ドル（約 1 兆 4300 億円）の時価総額が失われるなど信用リスクが高まりを見せている。そのため一時 7 月 2 日の安値 4090 円に迫る 4102 円まで下値を模索している。しかし週末には中国政府が新型コロナウイルスの感染拡大を受けて制限してきた、中国人の団体旅行と一部の旅行商品について、日本を含む韓国やインド、アメリカ、オーストラリア、イギリス、ドイツなど 78 の国と地域を対象に新たに解禁すると発表しており、消費の後押しを狙った動きに思われ白金標準先物は、祝日取引の中で 4241 円まで上昇を示すなど、4100 円の抵抗を確認している。そのため直近の戻り高値 4232 円を上回っており、4300 円に向けた戻り基調を強めた値動きが今週は期待されると思われる。

<テクニカル>

白金標準先物の日足を MACD と RCI で見た場合は、MACD では **MACD** が下げ渋り、**シグナル** が下げるなど乖離幅が縮小している。RCI では**短期**、**長期**共に下げているが、MACD 同様に乖離幅が縮小しており、基調転換の予兆に思える。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行ってください。売買の判断はお客様御自身で行ってください。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 3,235,000 円(2023 年 8 月 14 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 87,120 円(2023 年 8 月 14 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当日本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-5540-8423 (受付時間:平日 8:30~17:30)

証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター
<https://www.nisshokyo.or.jp>